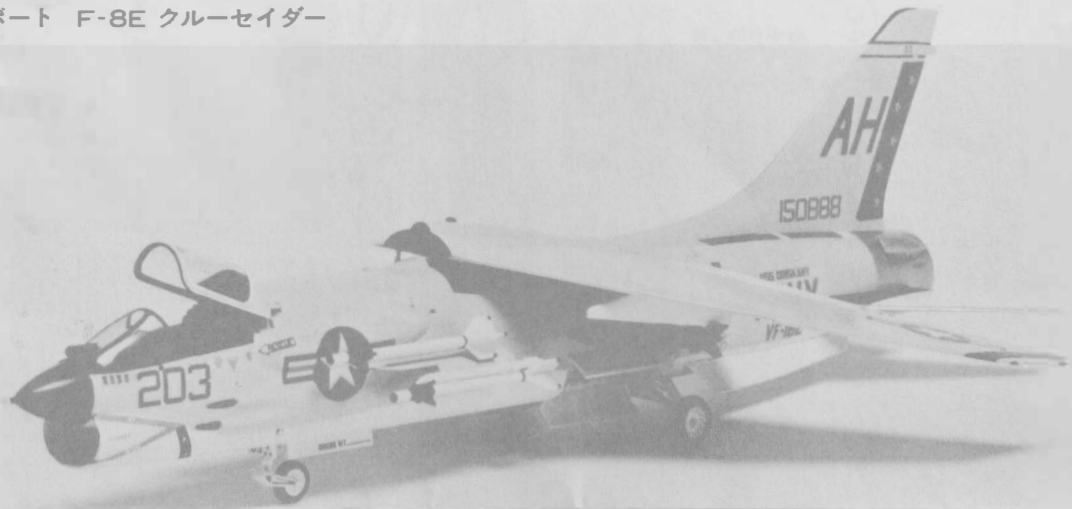


L.T.V F-8E CRUSADER



1/72 スケールシリーズ KIT No. JS-146
リング ティムコ ポート F-8E クルーセイダー



〈F-8 クルーセイダー戦闘機について〉

米海軍はもとより世界初の超音速艦上戦闘機として開発されたF-8 クルーセイダーは、1952年6月29日、XF-8U-1として計画され、短期間の開発にもかかわらず、1955年3月25日の初飛行で音速を突破し、翌56年8月21日にはF-100Cの持つ速度記録(1322.8km/h)を破る新記録(1633.8km/h)を樹立、57年6月6日には太平洋上のCVA-31 ホンノムリチャードからフロリダ沖のCV-60 サラトガまでの史上初の母艦から母艦への米大陸横断飛行を達成し、同年7月16日には、後の宇宙飛行セシオン・H・グレン少佐操縦のRF-8Aはロス・アンジュルス〜ニュー・ヨーク間、約4000kmを平均速度1164.39km/hで突破し、超音速米大陸横断記録を樹立するなど数々の輝かしい飛行記録を持つ傑作機です。

F-8 クルーセイダーの最大の特徴は、その主翼を油圧ジャッキで約7度持ち上げ、機首を上げな

くても仰角を大きくすることのできる「可変取付角翼」の採用にあります。また、同一の機構でエルロンとフラップの機能を果たす「フラップベロン」の採用や「ドラッグ トラウース」を初めて実用化するなど、機体の随所に斬新なアイデアが見られ、試作機と量産機との相違点が少ないこともその特徴として上げることができます。

C型以降の機体には高速域での方向安定性向上の為に、胴体後部に「ペンタラル フィン」が装着され、テールコーン上部にもアフターバーナー冷却用スクープが設けられました。

D型になると、AN/AAS-15赤外線探知機が風防前面に装備され、昼間戦闘機として開発されたF-8 クルーセイダーも、D型から全天候性能(制限付き)を持つようになり、武装も20mm機関砲×4、サイドワインダー AAM×4に強化され、E型の後期型になると、火器管制装置の強化、主翼および降着装置の補強により、翼下パイロンが新設

され、4000ポンドまでの外部装備が可能となりました。2000ポンド以下の各種爆弾、ブルバップ誘導ミサイル、5インチ ズニールケット弾ポッド、ガンポッド等、各種兵装が搭載され、対地攻撃にも、その威力を発揮するようになりました。

「The Last Gunfighters」と呼ばれたF-8 クルーセイダーもベトナム戦終りと共に退役し、現在では少数の偵察型が母艦配備されているにすぎません。しかし、その面影は兄弟機であるLTV A-7 コルセアIIに見ることが出来ます。

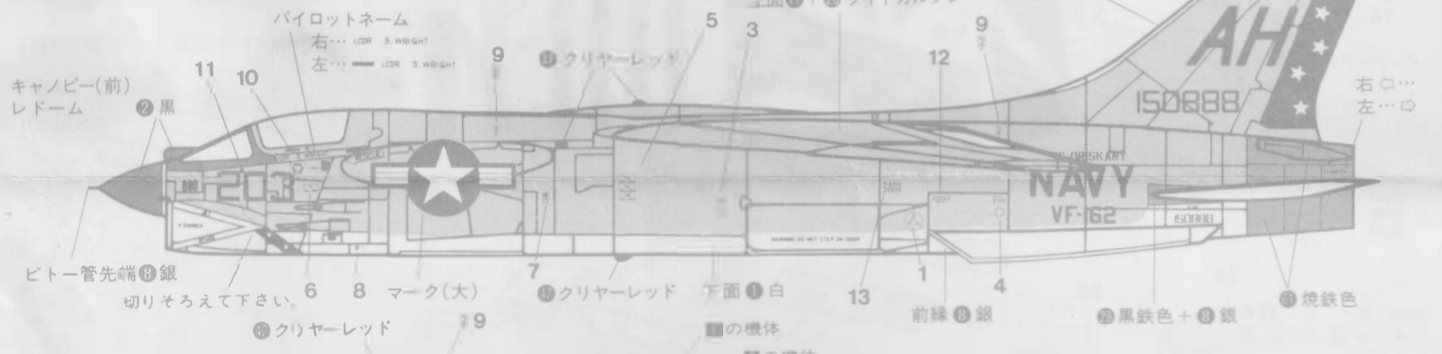
〈F-8Eのデータ〉

全幅 10.72m、全長 16.61m、全高 4.80m、主翼面積 32.5m²、エンジン P&W J55-P 20 最大推力 5,170kg(A/B推力 8,165kg)×1、全備重量 13,380kg 最大15,420kg、最大速度 マッハ 1.7(高度11,000m)、実用上昇限度 12,200m、最大航続距離 2,260km、乗員 1名。

Marking & Color Painting Guide

〈マーキング及び塗装参考図〉

■VF-162 "Hunters" CV-34 USS ORISKANY 搭載機

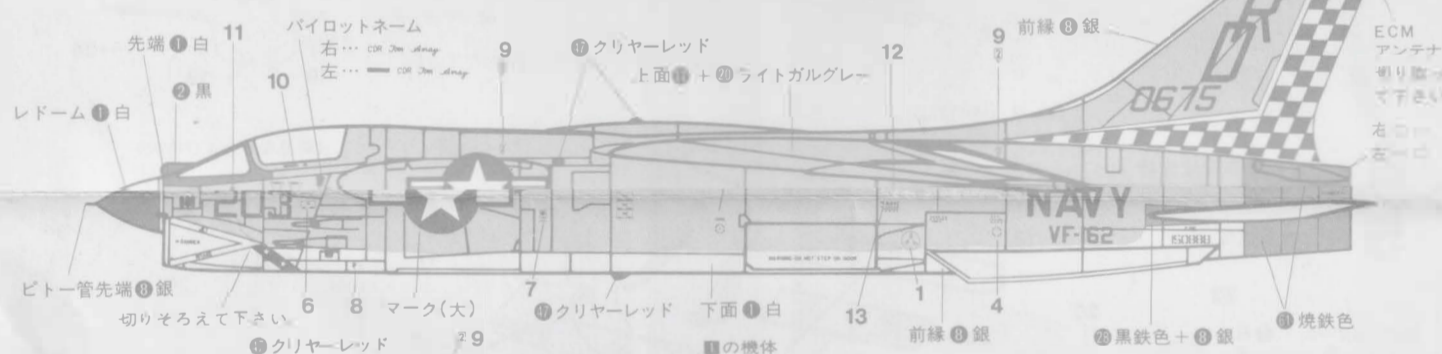


★ラダー・ストライプを黒で塗装する方は
星だけのデカールをお使い下さい。

★右側面 共通マーク

※キャノピー枠の内側にゴムのシールドが
してある機体が多いようです。白、又は
黄色でフチ線を入れると良いかと思いま
す。

■VMF(AW)-312 "Chekerbords" 所属機

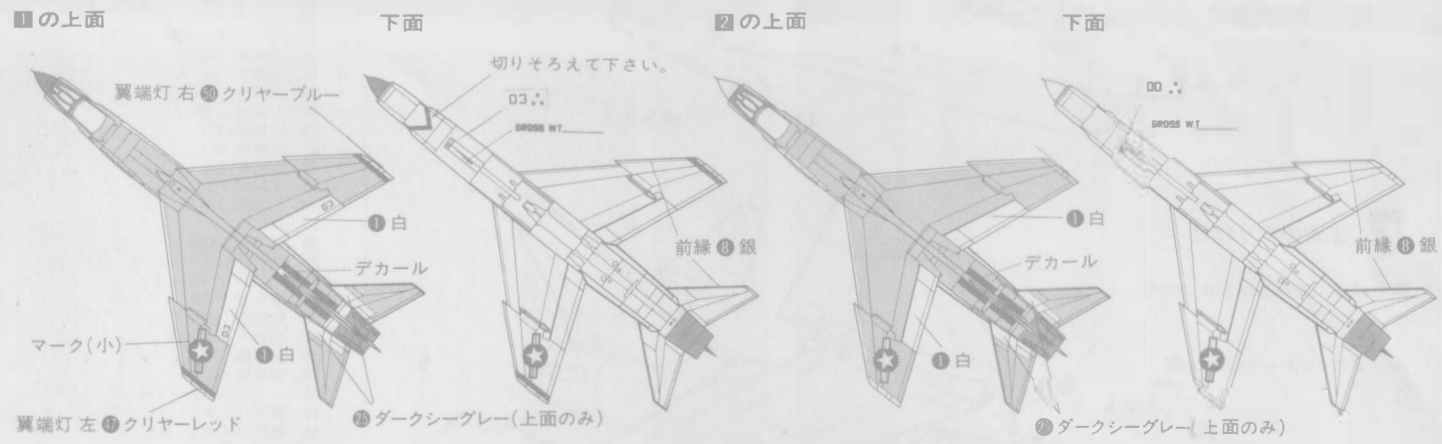
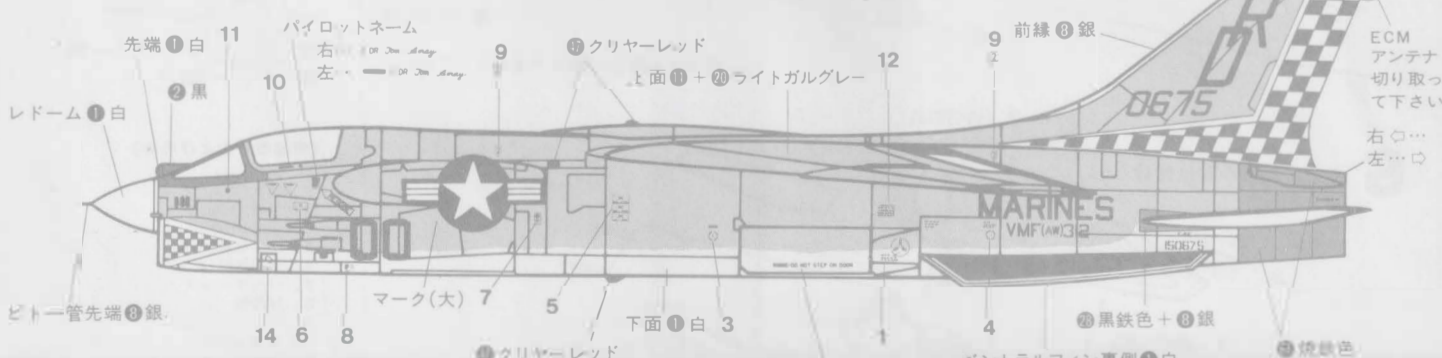


★ラダー・ストライプを黒で塗装する方は
星だけのデカールをお使い下さい。

★右側面 共通マーク

※キャノピー枠の内側にゴムのシールドが
してある機体が多いようです。白、又は
黄色でフチ線を入れると良いかと思いま
す。

■VMF(AW)-312 "Chekerbords" 所属機



F-8E クルーセイダーの塗装について

上面 イト ガルグレー (FS36440) 下面 イングリア
ホワイト (FS17875) という米海軍の標準塗装で、機
首はマッドブラック (FS37048) で塗装されています
が、E型以降の多くの機体はホワイト (FS27886)
で塗装されています。主翼・水平尾翼・垂直尾翼・ペ
ンタラルフィンの前縁には防食用のアル コーテ
ィングが施され、テールコーンと水平尾翼の付根は無
塗装となります。ノーズコーンも本来は無塗装な
のですが、そのほとんどが塗装されています。

スライドマークのはり方

1. マークを台紙から切り抜き、まわりの透明な部
分を切りとっておきます。
2. 水に20秒位浮かべてください。
3. マークを台紙からずらして所定の位置におき、
台紙をずらして抜きとります。
4. マークの上からやわらかい布でおさえ、余分な
水分と糊をおしたしてください。

① ②の番号はモテルカラーの番号で
す。くみだてたらかならず色をぬって
すばらしいモテルを作ります。

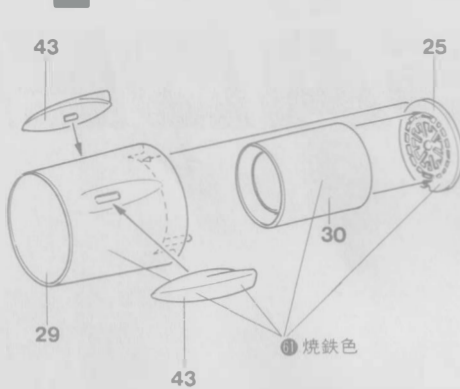
広い面積を塗装する場合は平筆、でこまかいと
ころは面相筆で塗装します。



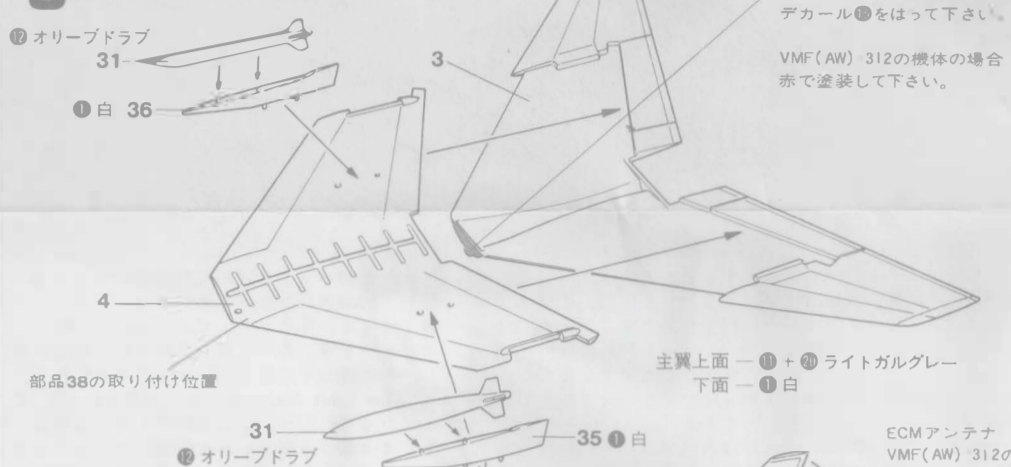
1 コックピットの組み立て



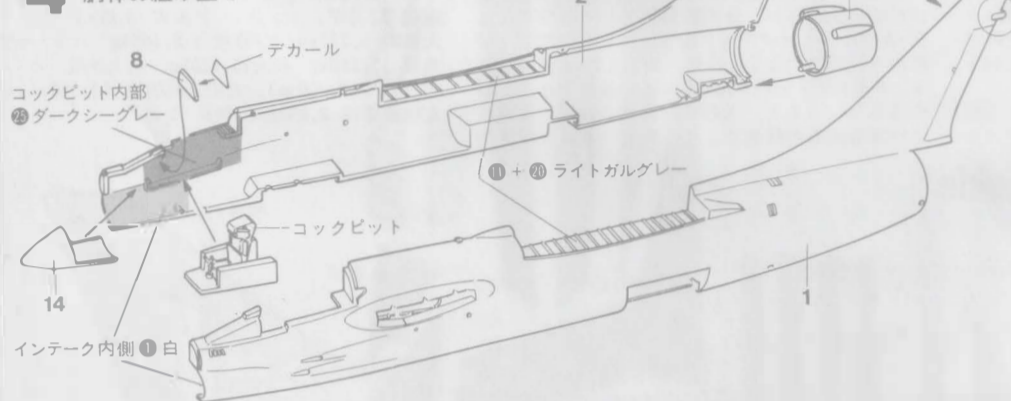
2 排気管の組み立て



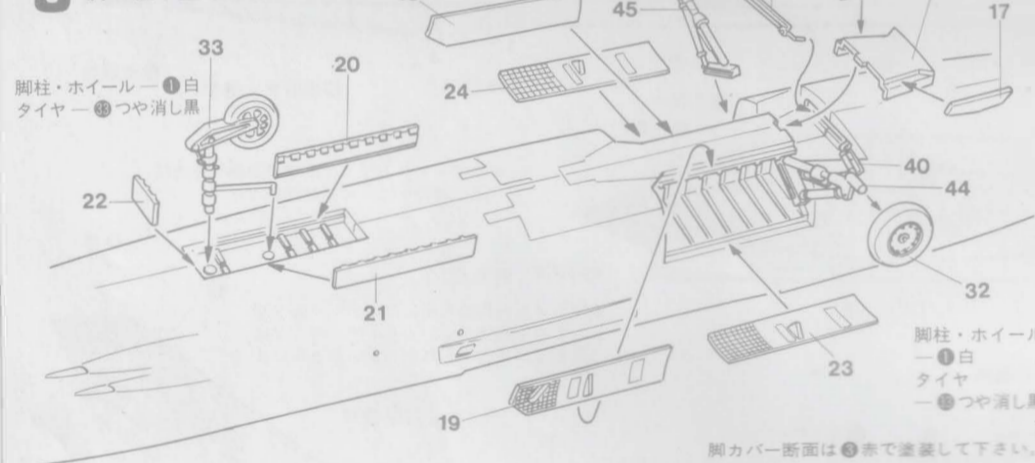
3 主翼の組み立て



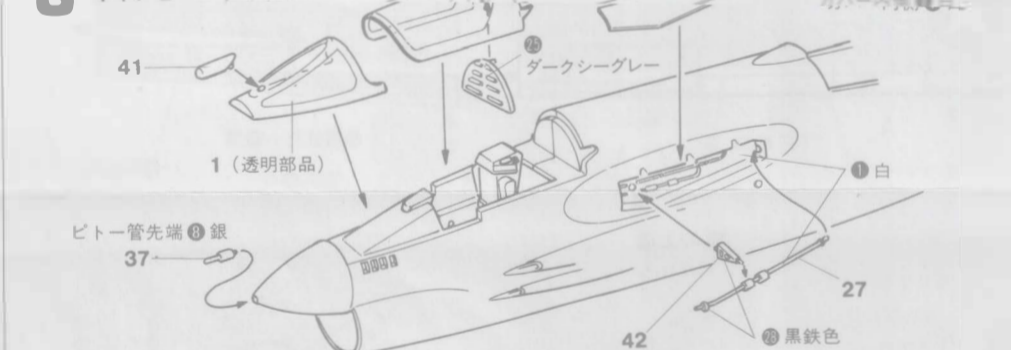
4 胴体の組み立て



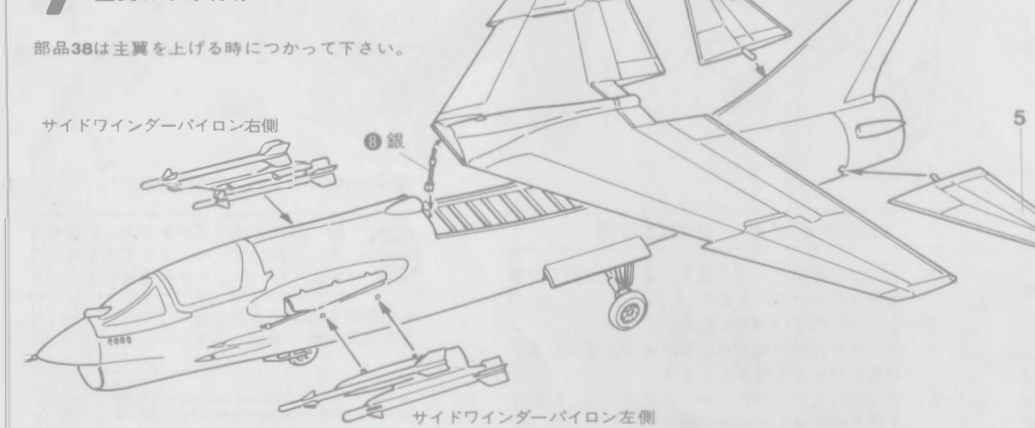
5 脚の組み立て



6 キャノピーの取り付け



7 主翼の取り付け



★くみだてるまえに
■説明書をよく見て、指示に従って作
ってください。
■部品をランナーから切りはなす時は
ニッパー又は、カッターを使って
ください。
■接合部は組み立てる部品の両方に少
じづつめって接着して下さい。
■接着する前にセロテープ等で仮に組
んで形をがしめて下さい。

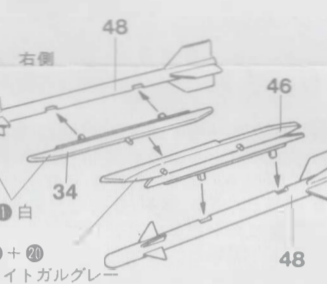


★ モデルカラー

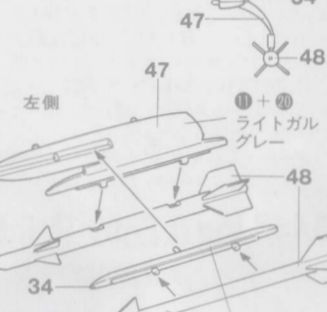
①-⑫の番号はモデルカラーの番号で
す。くみだてたらかならず色をぬ
すばらしいモデルを作りましょ

家庭用品品質表示法による接着剤品質表示
取得済みの商品には必ず「接着剤」の表示が
なされています。必ずご確認ください。
① 接着剤の種類をよんで下さい。
② 接着剤の量をよんで下さい。
③ 接着剤の硬化時間をよんで下さい。
④ 接着剤の硬化温度をよんで下さい。
⑤ 接着剤の硬化湿度をよんで下さい。
⑥ 接着剤の硬化時間と温度をよんで下さい。
⑦ 接着剤の硬化湿度と温度をよんで下さい。
⑧ 接着剤の硬化時間、温度、湿度をよんで下さい。
⑨ 接着剤の硬化時間、温度、湿度、硬化方法をよんで下さい。
⑩ 接着剤の硬化時間、温度、湿度、硬化方法をよんで下さい。
⑪ 接着剤の硬化時間、温度、湿度、硬化方法をよんで下さい。
⑫ 接着剤の硬化時間、温度、湿度、硬化方法をよんで下さい。

■サイドウィンダーパイロンの組み立て



■セントラルフィンの取り付け



■脚カバー取り付け参考図



■水平尾翼は上反角が



【部品番号および名称】

1. 機体
 2. 主翼
 3. 主翼(上)箱
 4. 主翼(下)箱
 5. 水平尾翼(左)
 6. 水平尾翼(右)
 7. エルクヘッド
 8. 計器盤
 9. エシユクシユクシート(左)
 10. エシユクシユクシート(右)
 11. コックピットフロア
 12. ベントラルフィン(右)
 13. ベントラルフィン(左)
 14. ノーズコーン
 15. 空中給油棒格納庫
 16. 主脚(後)左
 17. 主脚(後)右
 18. 主脚(下)左
 19. 主脚(下)右
 20. 前脚(左)
 21. 前脚(右)
 22. 前脚(前)
 23. 主脚(上)右
 24. 主脚(上)左
 25. 排気口
 26. 胴体下面部品
 27. 空給油棒
 28. アレストーフック
 29. 排気管 外側
 30. 排気管 内側
 31. 1000ポンド爆弾
 32. 主脚輪
 33. 前脚輪
 34. サイレランチャー
 35. 翼(パイロン)右
 36. 翼(パイロン)左
 37. ビーター
 38. 主翼支持棒
 39. 操縦桿
 40. 主脚支持棒
 41. 赤外線探知器
 42. 空中給油棒支柱
 43. アフターバーナー冷却用スクープ
 44. 主脚柱(右)
 45. 主脚柱(左)
 46. サイレランチャー(右)
 47. サイレランチャー(左)
 48. サイドウィンダー
- 《透明部品》
1. キャノピー(前)
 2. キャノピー(後)